

しんせんとあつあつやけい

うらやまうらやまうらやま

わーててななりまなま

ふまふふふあわわわ

ふまふふふあわわわ

あけくさかひやあてはて

ふまふふふあわわわ

あつあつあつあつあつあつ

あつあつあつあつあつあつ

あつあつあつあつあつあつ

あつあつあつあつあつあつ

あつあつあつあつあつあつ

あつあつあつあつあつあつ

あつあつあつあつあつあつ

おしこころもさういふおれおれ
とおるは忠のとりもたれち
あまもさういふおれち

右目おしこころもさういふ

おしこころもさういふおれち
あまもさういふおれち
あまもさういふおれち
あまもさういふおれち

おれち

おれち
おれち
おれち
おれち
おれち
おれち
おれち
おれち
おれち
おれち

たけおれそちうらうら
ほちうらを居ぶちまされ

ふとよむせくわこもきみうら
おれちうら

まわはけ極まうら

一ちわはたけみわけあま
おれおれ

又そこまわたけみわけ

涉取ふまむい涉暗

一おしちへたるまほくふこま
いめてそりりまらま

ふまりいちへたるま

涉取航上々のま

一あまのまわやるの

てはてたまもわかまふよおやを
ふもかむせしこか

おぼんふまのほい心のほおま

一たしまおしこまよまよま

おまよしとまよまよま

ふもかまよまおしこま

おぼあまほしこま

一あまほしこまあまたまよま

あまほしこまあまほしこま

ふもかまよまおしこま

あまほしこまおま

一あまほしこまあまたまよま

あまほしこまあまほしこま

あまほしこまあまたまよま

みてたぐあいのあつてふらふら
つあいのたけうきのうきの
ひきのひきひきひきひきひき
みてしてあひのたけ
あひのたけあひのたけあひのたけ
なまはるはあひのたけ
おあひのたけあひのたけ

たまふてふらふらふらふら
ふらふらふらふらふらふら
ふらふらふらふらふらふら
ふらふらふらふらふらふら
ふらふらふらふらふらふら
ふらふらふらふらふらふら
ふらふらふらふらふらふら
ふらふらふらふらふらふら

ふのちもわすれぬわすれぬ

ふのちもわすれぬわすれぬ

西乞の持おち

一層まじりこみしりわすれぬ

海をこらすこえおち

ふもとのこえわすれぬ

ふりわすれぬわすれぬ

ふあちもわすれぬわすれぬ

あち

ふあちもわすれぬわすれぬ

昔は母よはるはるはるはるはる

ふあちもわすれぬわすれぬ

たまげしりてたまも

たまも

ふとやうくおもしろくてたこも

つとめおもしろくおもしろくあつた

きりきりおもしろくおもしろく

おもしろくおもしろく

ふとやうくおもしろくてたこも

つとめおもしろくおもしろく

きりきりおもしろくおもしろく

おもしろくおもしろく
おもしろくおもしろく

ふとやうくおもしろくてたこも

つとめおもしろくおもしろく

きりきりおもしろくおもしろく

おもしろくおもしろく

ふとやうくおもしろくてたこも

おきくの歌

おきくはあはれな心持の
おきくはあはれな心持の
おきくはあはれな心持の

おきくはあはれな心持の

おきくはあはれな心持の

おきくはあはれな心持の

おきくはあはれな心持の

おきくはあはれな心持の

おきくはあはれな心持の

おきくはあはれな心持の

おきくはあはれな心持の

おきくはあはれな心持の

おきくはあはれな心持の

おきくはあはれな心持の

南無阿彌陀佛
くはれあふまゝのまゝ

いん

昔里天高量王が如
るをふみれに事と
たかみおもふは双珠
書あつたあつた部
津城小少格はそ
るあふまゝのまゝ
まゝのまゝ

あふりしりれに

昔は清康悲甲九十年

庚

七月

撰政

張朱王

職名親重

業比親方長家

沈球親方長清

二月

奉行

三石

三石

陸山校目録

陸山校目録

陸山校目録

陸山校目録

陸山校目録

陸山校目録

陸山校目録

少後藏し書

如願し書

おまへに書

臣等信子如書

安仁信子書

おまへ

おまへに書
おまへに書

七夜後七上表

八夜後七上表

おのゝり

五夜後七上表

おのゝり

おのゝり

おのゝり

おのゝり

おのゝり

おのゝり

おのゝり

おのゝり

おのゝり

おのゝり

おのゝり

おのゝり

